

職場体験 in 役場



働くことの意義や社会生活のルール・マナーを身につけるため、吉岡中2年生の職場体験が実施されました。役場には8月29日・30日に3人の生徒が訪れ、さまざまな仕事を体験しました。このページは、3人が「広報係」として取材・原稿の作成・紙面のレイアウトを実際に行ったページです。

あんなことやこんなこと聞いてみました



町民生活課 生活環境室
梅澤 辰弥 主事補

防災無線を流しているところ

町の防災無線

防災無線の声について質問してみました。この声は、以前は役場の電話交換手という人が担当していましたが、現在ではパソコンで文字を入力し、機械の音がしゃべっているそうです。また、毎日夕方5時に流れる「恋は水色」という曲は、時間を知らせるだけではなく、屋外スピーカーと各家庭に設置された戸別受信機の作動確認も兼ねているそうです。町の防災無線はここまで進化していました。(大竹)

元気で活発な吉岡町に

吉岡町には船尾滝や三津屋古墳をはじめ、たくさんの観光資源があります。「観光」ときくと、見て楽しむイメージがありますが、最近では体験型観光がとて多くなっているそうです。吉岡町には体験できる場所がたくさんあり、名産物を生かしたぶどう狩りや陶芸体験が人気です。また、吉岡町は人口増加率が高く特に若い世代が増加しているそうです。この若い世代を応援し、町民すべてが住みやすいと思える町づくりのために、さまざまな政策や取り組みを行っています。(石澤)



産業建設課 産業振興室
齋藤 智幸 室長



総務政策課 政策室
北田 滉人 主事補



教育委員会事務局 学校教育室
高橋 伸 室長



給食センター
高田 千鶴子 所長

生徒、みんなのために

私たち生徒が通う学校には、たくさんのお金が使われていますが、学校の予算はどのように決めて、何に使われているのか聞いてみました。学校の予算は、財務課で町長に許可をもらってから、議会で審議をして決まるそうです。そしてその予算は、学校の水道の修理などに使われているそうです。また、給食センターにかかる予算は、1年間に食材費として1億2,100万円、調理費・施設の維持費として7,200万円が見込まれています。(望月)

体験を終えて

この2日間、職場体験をしてみて、何をしているか知らなかったことや初めて見る仕事など、新しい発見がたくさんありました。特に、自らが取材をした防災無線関係の仕事は、質問したいことがたくさん聞いて、防災への興味が広がるとてもいい機会になりました。

おおたけ ひより
大竹 陽依 さん



いしざわ ゆうき
石澤 佑季 さん

最初は、与えられた仕事をきちんとこなせるかとても不安だったけれど、普段できないような貴重な体験ができて、とても楽しかったし、町の観光やいろいろな課の取り組みを学ぶことができました。袋詰めなどの事務的な作業でも、人と協力しながら工夫して仕事を行う大切さが分かったので、これからの学校生活のさまざまな場面で生かしていきたいと思います。



もちつき とうか
望月 透花 さん

私は、役場で職場体験をして、役場のイメージが変わりました。初めは書類整理など、自分がずっとやっていたら飽きるような仕事だと思っていました。でも実際に体験をしてみて、大変だけど飽きるような仕事ではないんだと思いました。町の人々が安心して暮らしていけるように、町の人気を上げるように、さまざまな活動をしていることを学びました。この職場体験は、貴重な体験でした。



取材依頼の電話をかけます



インタビュー中



土器の拓本をとります



ハザードマップ作り



林道の勉強



慣れないカメラに戸惑う…



広報の原稿作成